

くまもと技術革新・融合研究会(RIST) 創立30周年のお祝いにあたり感謝の意を込めて

(一社)熊本県起業化支援センター 専務理事
RIST顧問

松下 昭二



この度、くまもと技術革新・融合研究会(RIST)が、創立30周年を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。

くまもと技術革新・融合研究会(RIST)は、平成元年に前身の「熊本県知能システム技術研究会」として創立され、その目的は、「産学官が一体となり、産業技術に関する基礎技術の研修、調査研究、共同研究、情報交換等を行うことにより、産業技術の開発及び実用化を促進し、地域産業の技術の高度化および関連企業の振興を図ること」とされています。発足当時は全国的にも数少ない産学官連携組織であったとお聞きしております。

昨年10月に開催された「RIST創立30周年記念シンポジウム」においては、元RIST会長の村山伸樹熊本大学名誉教授から、「RISTこれまでの歩み」という題でご講演を頂きました。講演では、RIST創立前の“黎明期(夜明け)”から“発展期”“停滞期”“再生期”“再びの危機”“現在”“未来へ”と、時系列的に各時期における様々な事業・会員企業様の開発品の紹介等々を詳しくご説明頂きました。途中でバブルの崩壊やリーマンショック、会員企業数の減少や熊本地震等々、多くの苦難に見舞われ、ご苦労をされながらも「何とんでもRISTを継続したい」という強い意志を持って、活動を続けてこられた会員企業と運営事務局皆様の姿勢に大きな感動を覚えました。

私は当研究会の顧問として、平成26年7月からRISTの活動に関わらせて頂いておりますが、幹

事会や総会へ出席するだけで、直接的に貢献できた事もなく申し訳なく感じているところです。逆にRISTの活動に参加する事で、様々な情報を頂いており大変感謝している一人でございます。と申しますのは、私が所属している(一財)熊本県起業化支援センターは、熊本県内で事業を営む新規起業家や新分野進出を図る企業を資金面で支援(投資及び社債の引受)することにより、県内の雇用確保・拡大と県民所得の向上を図ることを目的に設立された財団です。メイン事業の“投資業務”を行う上では、新しい企業のニーズやそれらを可能にする技術・研究(シーズ)に関する情報収集が一番重要となります。その情報収集の目的で、毎月開催されております「月例フォーラム」及びその後の交流会には出来る限り時間を作り、参加させて頂いております。これまで数多くの月例フォーラムを計画・実施頂いた、歴代の企画委員や事務局の皆様がこの場をお借りして感謝申し上げます。これまでのところRISTの月例フォーラムで得られた情報が投資実績となつてはおりませんが、今後も引き続きフォーラムへの参加を継続し、近い将来には投資に結び付けていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

最後に、くまもと技術革新・融合研究会(RIST)の今後ますますのご発展と、会員及び関係者の皆様のご繁栄・ご活躍を心からお祈り申し上げます。